

経営・流通学研究科 経営・流通専攻 博士後期課程

【教育研究上の目的】

現代経済社会のグローバル化は一層深化し、ビジネス環境はますます自由化が進み、激しい競争社会となっている。このような状況の中にあって、経営・流通専攻では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者の育成を目的とする。

【教育目標】

経営・流通学研究科では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者を育成するため、次の教育目標を掲げる。

- ・グローバルな視点に立って経営を取り巻く経済社会の変化を俯瞰し、読み解き、分析できる能力を養う。
- ・経済社会の変化を分析し、課題を抽出し、その課題に対して解を導き出す能力を養う。
- ・問題設定から結論を導き出すまでのプロセスをまとめて論文にする能力を養う。

【ディプロマ・ポリシー】

すでに修得した定量的あるいは定性的分析手法に基づいて、経営学、会計学および商学のそれぞれの分野において特定の研究課題について、従来の研究レベルを凌駕していると認められる研究成果を博士論文として纏めることにより、研究課題の設定能力と研究の実行能力の双方を具備し、研究者として自立して研究活動あるいは高度の専門業務に従事しうる能力を有すると認定される者に博士（経営学）の学位を授与します。

- ・研究課題の問題設定能力。
- ・研究課題に対する分析能力。
- ・分析から結論を導出する能力。
- ・分析結果に基づいて博士論文を作成する能力。
- ・研究者としての倫理観を身につけていること。

【カリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーで掲げる能力を養うため、経営・流通分野の諸課題をグローバルな視点から学術的に研究する人材の育成を目標に掲げてカリキュラムを編成しています。

【アドミッション・ポリシー】

国際的・中長期的な視野とシステム思考に立って、激変する経営・流通事象を学術的に研究しようとする研究者あるいは専門職業人を旨す、以下のような学生を求めます。

- ・経営・流通分野の課題を理解している。
- ・経営・流通分野の課題を学術的に分析することに強い関心があること。
- ・教育研究活動で社会に貢献することに強い関心があること。

(選抜方法)

【一般入試】

修士論文と今後の研究計画書に基づく面接